

## 一橋日本史 予想模試⑩解答

### I

**1** 武家社会の慣習である道理を取捨選択して法文化した。**2** 永仁の徳政令。御家人所領の売却や質入れを禁止し、以前に売却したり質入れた所領の無償取戻しを認め、越訴の禁止も定められた。徳政を無償取戻しとする思想は室町期の徳政一揆に影響を与えた。**3** 正長の土一揆。「大乘院日記目録」。惣村を基盤として農民が階層や地域の違いをこえて結束を強め、さらに商品・貨幣経済の進展に伴い土倉・酒屋など高利貸業者への借金が農民らの生活を脅かしており、農民の手元に残るはずだった加地子の収入が借銭によって高利貸に差し押さえられたのでそれを取り戻そうとして、幕府が発令した徳政令によらず実力で行う私徳政を含む徳政一揆が室町時代後期に広範囲かつ頻繁に起こった。その際、信者が寄進した銭貨である祠堂銭を中心に寺内困窮者の救済を目的とした低利の貸し付けをしていた寺院も襲撃された。**4** 自力救済。(378字)

### II

**1** 「憲法講話」。政府による天皇機関説の否認及び天皇主権説の公認で憲法による君主権制限の解釈は崩壊し、統帥権の独立の下で天皇に直属する軍部が大きな発言力を確保する根拠になり、天皇統治の永遠性と他国への優越性を説く国家主義が台頭する契機となって、自由主義思想の排斥を助長した。**2** 朝鮮についてはポーツマス条約で日本の優越権が承認され、三次に及び日韓協約で外交権や内政権を掌握し、伊藤博文の暗殺で併合を強行した。台湾は下関条約で日本に割譲され、樺太はポーツマス条約で北緯50°以南が日本に割譲された。**3** 明治憲法では立法や予算制定には帝国議会の協賛が必要で、貴族院・衆議院の両院の同意がなければ法律や予算は成立せず、衆議院に予算の先議権があった。さらに衆議院は法的拘束力は無いものの不信任決議による意思表示を行い、帝国議会は内閣を監視する機能を実質的に保持した。**4** 初代朝鮮総督は寺内正毅。初代台湾総督は樺山資紀。(399字)

### III

**1** ソ連は日本と中立関係にあったため。**2** 中国では国共内戦の結果、中華人民共和国が成立したが、蒋介石政権が台湾に移って対抗しており、日本はアメリカの意向に基づき蒋介石政権と日華平和条約を結んだ。しかし、中華人民共和国が中華民国に代わって国連代表権を獲得し、ベトナム戦争の進展で和平を模索するアメリカの対中国政策が転換して米中接近が進むと、日中共同声明で中華人民共和国と国交を正常化し、一方で日華平和条約を破棄した。その後、日中平和友好条約が締結された。**3** 戦争指導に関与した政治家・軍人などをA級戦犯として東京裁判で裁き、俘虜や一般人に対する殺害・虐待など通常の戦争犯罪をB・C級戦犯としてアジア・太平洋各地の軍事裁判で裁いた。**4** 自由民権運動や大正デモクラシー。**5** 衆議院議員選挙法の改正で婦人参政権が実現し、民法改正で戸主権の強い家制度が解体され、刑法改正で大逆罪・不敬罪が廃止され姦通罪も削除された。(398字)